

予告 伝える力スキルアップセミナー開催

～あなたの「もっと伝えたい」、「もっと広めたい」を応援します～

■ 笑顔を伝える・クラウン講座

クラウンとはピエロのことです。この講座はクラウンになるための講座ではなく、クラウンの持つ「お子様の心をひきつけるテクニック」を知っていただく講座です。保育士、看護師、教育現場、商店主など、お子様と接することがある方々に、すぐに役立つコミュニケーションの心と技をお届けします。

講師：クラウン・チャン氏 2005愛・地球博でレギュラーパフォーマンスを務め、入院中のお子様へ笑顔を届けるホスピタルクラウンの活動を行う団体のメンバー。

日時 2008年2月6日より毎週水曜日(全4回) 19時～20時30分

■ 書いて伝える・文章講座

「自伝を書きたい」「自分らしいエッセイを書いてみたい」「気持ちをメールにすると上手く伝えられない」など、文章が上手ければ…と思うことは意外に多くあるものです。日頃の生活から自己実現の活動まで、様々な場面で活用できることでしょ。魅力溢れる文章表現を学んでいただきます。

講師：「書くこと」に精通され、タウン誌「月刊Simple」代表の松山氏、フリーペーパー「Kuuin」編集者の鎌家氏、タウン誌「Edge」を発行していた飯田氏など、地域メディアを代表する方々。

日時 (予定) 2008年2月8日より毎週金曜日(全4回) 19時～20時30分

■ 語って伝える・講師養成講座

得意ジャンルを活かした講師になるための講座です。市民活動に関わる方々は専門知識を多くお持ちです。NPO分野だけに限らず、趣味や特技、団塊世代の知識も講座にすることで「学びの交流」が始まります。講師になり、受講料を得ることで様々な活動のための財源を得ることに繋がりそうです。

講師：安宅仁氏 5,000件を超える講演企画をしてきた現役プランナー。『PPO講師で成功する黄金律』が人気ビジネスブログとなり、セミナー講師ブームの火付け役の一人。

日時 (予定) 2008年2月9日(土) 18時30分～/2月10日(日) 9時30分～(2日連続中講座)

お問い合わせ

只今、セミナーの『詳しいご案内』を準備中です。ご希望の方は、お電話またはメールでお問い合わせください。メールは【伝える講座 案内希望】の件名で【氏名・ご住所・電話番号】をご記入の上、送信ください。詳細が決まり次第お知らせします。

松阪市市民活動センター：TEL 0598-26-0108 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp
http://www.city.matsusaka.mie.jp/kyodo/ ※ホームページでもご覧いただけます。

ブンカの交流館ニュース

松阪駅前ベルタウンで開催しております、カルチャースクール「ブンカの交流館」は、開始から2カ月半経ち、開講された講座も27講座、受講生も250人を超えました。そんな中、多くの受講生の方が松阪駅前に集まり、今まで知らなかった松阪駅前を再発見出来たとの声もしばしば聞くようになってきています。また、この「ブンカの交流館」がきっかけで、受講生同士、受講生と講師など新たな交流も生まれつつあり、新しい「輪」が広がってきているようです。ブンカの交流館では、これから開講する講座もあります。例えば、お正月ようなお花を生ける講座「フラワーアレンジ New Year Flower」や、注目の新手法ストロー織り「プチ・ウィーブ」など、趣味や実用を生かしたもの、また会話を通して相手の目標実現を支援する技術「コーチング」、本当の私と出逢う「西洋占星術」など自分自身を高める講座が開講予定となっております。是非「ブンカの交流館」をご自身でご体験ください。

講座には申し込み受付期限がありますので早めにお申込みください。

詳しくはホームページをご覧ください… http://m-bridge.jp/business お電話でも受け付けます。

【お問い合わせ先】主催：特定非営利活動法人Mブリッジ TEL:0598-26-0108 FAX:0598-25-3803 Eメール info@m-bridge.jp

【協力】松阪駅前通り商店街振興組合 【後援】松阪市、松阪商工会議所、松阪市社会福祉協議会、松阪市自治会連合会、(株)夕刊三重新聞社、中日新聞社、松阪ケーブルテレビ・ステーション株式会社(後援依頼ご承諾願)



「ブンカの交流館」は、公募による市民講師が講座を開講することで、「中心市街地活性化」、「ビジネス創出」、「生涯学習」、「NPO支援」、「コミュニティ再生」、「文化振興」などを目的に、楽しみながら、まちづくり・人づくりを目指す取り組みです。

一緒に「学び」の交流を楽しみましょう！

おすすめ書籍紹介

書籍の森



日経ビジネス 「敵か味方がNPOビジネス」

企業や行政から見捨てられた領域で、収益を上げながらより良い社会を創ろうとするNPOビジネスが広がりを見せているという。特集のトップバッターは財政破綻した北海道夕張市。行政に頼ることのできなくなった町では、健康ツアー、映画祭、観光ガイド等のNPOが活躍する。地域の難問に取り組むキーマンの想いが、市民や企業の支持を得て動き出した。

NPOとは、社会貢献活動を行う、営利を第一目的としない団体の総称である。利益が生まれにくい分、経営のセンスが求められる。今、米国の某有名大学では、MBA(※1)コース卒業生のなんと10%がNPOに就職し、その数は増加中だという。高給職も狙えるエリート達がなぜNPOへの就職を希望するのか？その背景には、企業のスキャンダルやテロ等によって失われていく社会の秩序があり、これに反比例して「社会的意義のある仕事をしたい」という若者の想いが現れているという。米国よりも20年は遅れていると言われる日本でも、「生きがい」や「公共的活動への想い」を満たす働き方を選ぶ人が増えている。

企業に対する世間の目が厳しくなる中、NPOとの積極的な協力関係によって、利益追求では見落としがちな「社会の潜在的ニーズ」に気がつき、会社の価値を高めようという企業も紹介されている。この特集は、そんな企業目線から見たNPOビジネスの動向と付きあい方指南であり、NPOの価値を客観的に見ることでできる一冊だ。

※1:MBAとは Master of Business Administration(経営管理学修士)という学位の略称

本紙ご愛読のみなさまへ センターからのお知らせ

◎施設内インターネット環境変更のお知らせ

センター施設内で無線LANによるインターネット接続ができるようになりました。無線LAN対応のパソコンをお持ち込みいただくと、インターネットに接続しながら会議を進めていただくこともできます。同様に、パソコンプロジェクターセットでも無線LANを利用してインターネット接続ができるようになり、ケーブルを接続する作業が不要となりました。

◎センター年末年始休館のお知らせ

年末年始は下記の日程で休館とさせていただきます。
2007年12月30日(日)～2008年1月4日(金)
会議室利用などのご予約もできませんので、予めご了承ください。

AROMA

TEL 0598-25-3801(予約専用) 0598-26-0108 FAX 0598-25-3803 E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

会議室	大会議室…机10 椅子30 (600円)	機材等	印刷機(紙持込) / コピー機
	小会議室1…机4 椅子12 (150円)		マイク/プロジェクター 他
	小会議室2…机6 椅子18 (200円)	会議室・機材等はセンターに団体登録されることで利用可能です。	
	小会議室3…机4 椅子12 (150円)	利用申込	申請書類は窓口でご記入いただくか
	外会議室…机8 椅子24 (400円)		お電話にて予約後、ご提出ください。

▼ 松阪市市民活動センターホームページ
http://www.city.matsusaka.mie.jp/kyodo/
▼ 市民活動情報サイト(登録団体の情報、会議室の空き情報)
http://genki365.net/gnkm/customer/matsusaka/
▼ 市民活動情報サイト(携帯版)
http://genki365.net/gnkm/i/
※ドメイン指定受信を設定されている方は「imgenki365.net」を受信できるように指定してください。



ご協力ありがとうございます。引き続き書籍の寄贈を募集中です。

松阪市市民活動センターは新たに生まれる市民活動団体に活用していただくため書籍リサイクル運動「書籍の森」を実施中です。あなたの本棚に眠る使用済みのNPO書籍を次の世代に役立ててください。

【募集書籍】NPO、ボランティア、まちづくり、NGO、CSR資料

文字と文字の隙間を縫う・・・チラッと編集後記

暮れも押し迫るほどに忙しくなる時期です。また、忘年会や新年会など、お酒の席が多くなり、私の活躍の場が増える時期でもあります。これといった宴会芸もなく、とりわけ会話やお世辞も得意ではありません。それでも私、大活躍なんです！ 個人タクシードライバーとして…。飲んだら乗るな。飲むなら私が運転手。飲めない者のサガですな(悲) 【S】

市民が創る市民活動の情報紙〜アロマ

AROMA

A Resident Of Matsusaka Activity No.14

発行…松阪市市民活動センター
〒515-0084 三重県松阪市日野町788 カリヨンプラザ3F
開館 月曜～土曜日/10:00～22:00

TEL 0598-25-3801 ▲予約専用
0598-26-0108

FAX 0598-25-3803

E-mail katsudou@ma.mctv.ne.jp

今回取材させていただいたのは…
【大正ロマン一座】さんです

きつかけは前座から

人から「あなたの生きがいは何？」と尋ねられた時、即座に答えることが出来る人はどれくらいいるだろう。今回取材に应邀いただいた大正ロマン一座の副座長、越知愛幸子(おちえみ)さん、広報部長の近藤恵美(こんどうえみ)さんは、いずれも、先の質問に対し「この活動が私達の生きがいです」と即答出来る人達だ。団体設立のきっかけは、まちの駅「寸庵」内のボランティア数名が、同施設内で実施した「市民塾」の前座として、歌を歌ったことから始まる。シルバー世代の生きがいづくりの場としての役割も担っていた寸庵に集まったボランティアメンバーは、自分を高めたい、自分の力を活かしたいと考えていた。そこで、寸庵の理事長を勤めていた阪上順夫(さかがみのおおさむ)さんが座長となり、この団体を正式に発足させた。現在では49名が在籍しており、個人の持つ知識や能力を存分に発揮している。

大正ロマン一座は「高齢者による高齢者のための、元気づくり集団」として、歌や踊りを中心に活動している。同時に「歌や踊りだけに留

「高い目標」と「意識」

座員の大半は、この活動で初めて人前に立った。しかし、「座長の阪上さんからは『常にプロ意識を持つように』と言われるんです」と、越知さんは語る。人前に立つならば、それなりの技術・技量はもちろん、演者としての自覚を持つことは大切ということだ。阪上さんは日頃より、この活動の目標を高く設定している。一つの目標をクリアすると、更上の目標を目指す。目的がはっきりとしていれば、必ずとやがていが湧いてくるものだ。そして、高い目標を胸に背負って、高い目標を達成感、後の自信

「高目標」と「意識」

座員の大半は、この活動で初めて人前に立った。しかし、「座長の阪上さんからは『常にプロ意識を持つように』と言われるんです」と、越知さんは語る。人前に立つならば、それなりの技術・技量はもちろん、演者としての自覚を持つことは大切ということだ。阪上さんは日頃より、この活動の目標を高く設定している。一つの目標をクリアすると、更上の目標を目指す。目的がはっきりとしていれば、必ずとやがていが湧いてくるものだ。そして、高い目標を胸に背負って、高い目標を達成感、後の自信

冊子として活動の記録を残す

海外での公演を終え、一息つく間もなく活動は続く。活動の記録を冊子として残すことになったのだ。地元印刷会社に依頼し、紙質や厚みなど、様々なアドバイスを受け制作した「大正ロマンでまちおこし」は、活動当初から現在に至るまでの歩みが一冊に納められた冊子だ。座員の娘さんによる描き下ろしのイラストが表紙を飾り、紙とインクで綴られる冊子にはデジタルデータにない温もりがある。「後から入ったメンバーにも、この団体の経緯や、想いを伝えたいですし、なにより記録として残ることで、過去の活動を詳細に思い出すことが出来ますからね」と語る越知さんのキラキラした笑顔は、周りまで笑顔にさせてしまう。この街の「元気づくり集団」は、自分達が作り出す元気を、周りの人にも分け与える力を備えているようだ。元気の秘訣を軌跡として辿れるこの冊子は、世代を問わず読んでもらいたい一冊だ。

こちらが自費出版された活動記録「大正ロマンでまちおこし」書籍の森にご寄贈いただきました。ありがとうございました。12月19日には松阪コミュニティ文化センターで、出版記念講演も開催されました。

事業報告 地域事業への参画 民郷まつりブース出展



平成19年11月3日に開催された民郷まつりは、晴天に恵まれ多くの人出で賑わいました。当センターは昨年に引き続き、シャープ株式会社三重県環境安全推進センターと共にPRブースを構えました。センターブースではリーフレットや、事業告知のチラシなどを手配りし、市民活動をPRしました。また、シャープブースでは、日頃の環境への取り組みをパネルで展示した他、無料配布のCSRレポートを設置。このレポートは午前中にはすっかりなくなり、ブースを訪れた市民の環境に対する意識の高さを伺うことが出来ました。当センターでは、まつりなどの地域事業への参画、地域企業と市民活動団体とのマッチングなどを推進し、市民活動や、企業の社会貢献活動への理解を更に深めてもらえるよう、積極的に取り組む考えです。

センターブース




手配り、手配り。地道な活動が大切です。

シャープブース



皆さん熱心にパネルに見入っていますね。





ポンパンポ〜♪

ご存知でしょうが、改めてご案内いたしま〜す!

え? なになに?

松阪市市民活動センターを是非ご利用ください。

企業の皆様へ

当センターでは、企業が取り組む「地域貢献活動」「ボランティア活動」のPR、サポートなども行なっております。お気軽にご相談ください。現在、会議室などについては、営利目的ではご利用いただけませんが、企業内で取り組んでいらっしゃる地域貢献サークルやボランティア事業については、ご利用いただけます。ぜひご利用ください。

学生の皆様へ

市民活動、まちづくり活動に取り組む学生さんがさらに増えてほしいですね。当センターでは、これからボランティアを始めてみたい学生さんのために、様々なご相談を承っております。想いや願いを実現するために、是非センターを活用してください。例えば、本紙「アロマ」の学生記者体験、なんていかが?

センター長の独り言

皆さんがお持ちの知識や技術を広く伝えるサポートができれば…、市民活動もまちづくりも、さらに豊かになりそうですね。2月はスキルアップ講座が盛りだくさんですよ。

平成19年度 リユースパソコン寄贈プログラムのお知らせ


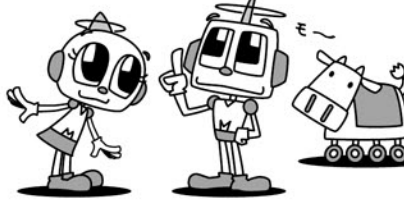
昨年度好評をいただきましたリユースパソコン寄贈プログラムを、今年度も実施いたします。「リユースPC寄贈プログラム」とは、企業からのリユースPC(再生パソコン)を非営利組織・ボランティア団体・高齢者グループなどの市民活動団体・NPOへ寄贈し、その情報化を支援するプログラムで、NPO法人「eparts(イーパーツ)」(本拠地・東京都)が主催しています。今年度は、NPO法人eparts、いせ市民活動センター、伊賀市市民活動支援センターと松阪市市民活動センターが連携して「いせ・松阪・伊賀・イーパーツリユースPC寄贈プログラム」として寄贈団体を選定し、プログラムを実施します。寄贈式は伊賀、いせ、松阪市市民活動センターの3施設をインターネットで結んで同時開催いたします。他地域市民活動団体の情報化を知る機会であり、交流が生まれるチャンスでもあります。

寄贈目的	非営利団体の情報化支援と交流の促進
寄贈対象	伊勢、松阪及び伊賀周辺で活動をしている公益性を持つ活動(ボランティア活動等)を行っている団体で、予算などの諸事情により情報化が遅れている団体 ※この事業の趣旨により、以下の団体は寄贈対象から除外させていただきます。 営利団体、個人、幼稚園から高校までの学校および大学、寄贈PCを再配布する目的の団体、日本国外に位置する非営利団体、医院、病院、政府・行政機関、政治・労働・宗教団体
公募期間	平成19年12月20日～平成20年1月31日(当日消印有効)
寄贈PCについて	OS Windows XP、事務ソフトOffice XPとウイルス対策ソフトインストール済みのノート型リユースパソコン36台程度(3地域合計)を予定 ※PCの送料は自己負担となります。 ※マウス及びCD/DVDドライブは付属していません。 ※再インストール用のCD-ROMは付属していません。再インストールが必要な場合は、イーパーツで行ないます。 この際、5,250円(実費)が必要になります。
申込方法	指定の申請書を松阪市市民活動センターに提出してください。申請の前に同意事項がございます。申請書をご確認ください。申請書は松阪市市民活動センターに設置してあります。また、下記URLからダウンロードできます。 http://www.city.matsusaka.mie.jp/kyodo/pdf/pcshinsei.pdf
選考方法及び寄贈式	結果は厳正な選定の上、平成20年2月下旬頃までにご連絡いたします。寄贈式は、平成20年3月1日(土)に、松阪市市民活動センター、いせ市民活動センター、伊賀市市民活動支援センターの三会場をインターネットで結んで同時開催をいたします。寄贈式では、寄贈決定団体の方々に市民活動の情報化等について発表していただく予定です。 ※参加できない場合、寄贈取り消しになる場合があります。
お問合せ	松阪市市民活動センター TEL 0598-26-0108 (担当/福井)

だから、市民活動!


もうご覧いただけましたか?

松阪ケーブルテレビ8チャンネルで、11月よりスタートした「だから、市民活動!」は、もうご覧いただけましたか? 当センターのキャラクター、マツハくん、ミライちゃんがババットで登場し、市民活動の魅力を凝縮して伝える、5分間の市民活動PR番組。実際に収録で使われるセットが置かれたラウンジで、視聴していただくことも可能です。ケーブルテレビに加入されていない方は、お気軽に当センターでご視聴ください。

季節彩るセンターの装飾

センター窓口の前に登場したクリスマスツリー。事務的に見えがちな施設内で、移り行く季節を目でも楽しんでいただけるのではないのでしょうか。ちょっとした装飾ですが、会議やミーティングなどで訪れた皆様の心に「ほっ」と和むような瞬間があればなによりです。当センターでは、日増しに利用者の数も増えてきていますが、更に、親しみやすい施設でありたいと考えています。



まつさか地域SNS(仮称)が開設しました!

松阪市では、インターネットを通じて地域のみなさんが参加できるSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)を開設しました。

<http://www.sns-matsusaka.jp>

SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)とは、日記や掲示板、写真紹介などの機能を使って、情報の発信や交換を「安心」しておこなうことができる交流の場で、「人のつながり」を意識して作られた信頼性のあるインターネット上の便利な仕組みです。

会員登録すると、メンバーの日記、掲示板、プロフィールなどを見たり書き込んだり、コミュニティに参加したりなど、すべての機能を利用することができるようになります。

私たちが住む「まつさか」にはたくさんの魅力があります。皆さんが発信する地域の情報が集まることで、今まで知らなかった「まつさか」がきっと見つかることでしょう。集まった魅力ある情報から新しいつながりが生まれ、活気のある「まつさか」につながります。まつさか地域SNS(仮称)は、参加したみなさんが作り上げていきます。地域を元気にするような情報発信や情報交換を行ってください。

松阪市役所 政策課
〒515-8515 三重県松阪市殿町1340-1
TEL 0598-53-4314 FAX 0598-22-1377
E-mail sns@city.matsusaka.mie.jp

お問い合わせはコチラまで

me mo npo!!

【協働】▶ 今回のNPO法人ひとくちメモ、「ひとくちmemonpo!!(メモンポ)」は「協働」についてお話しします。

「協働」とは、事業をする際、単独では解決できない問題がある場合や、単独で開催するより良い成果が得られる場合など、同じ目的を有する行政や企業と協力してひとつの事業を行っていくことをいい、コラボレーションやパートナーシップともいいます。多様化する地域の課題や要望にNPO法人与自然や企業が対等な立場で話し合い、お互いの役割を活かしながら課題を解決していく。「協働」とはNPO法人の事業のあり方とも言えますね。

NPO川柳

早くも第9回を迎えました。NPO川柳またまた募集です! あなたの一句お待ちしています。

デジタルと アナログまじる 団体名簿

日頃から 節電 節水 エコ活動

学生と 企業と行政 わたし達

団塊の 世代と言われ ややへこむ

冬近し 積みれよ積みれ 支援金

【募集内容】「NPO」、「ボランティア」、「市民活動」に関する川柳を自由に【対象者】どなたでも応募できます。(NPO関係者以外の方も大歓迎) 【応募方法】件名に「NPO川柳」とご記入の上、左記で送信ください。①句(未発表作品に限り可。複数応募可) ②氏名(姓名、筆名でも可) ③住所、電話番号 【宛先】katsudou@ma.mctv.ne.jp 【締切】平成20年1月31日 必着 【発表】次号の「AROMA」と市民活動センターホームページにて。賞は何もございませんが、想いや願いを川柳で楽しく伝えて交流しましょう!

※作品の著作権並びに作品に発生するすべての権利は松阪市市民活動センターに帰属するものといたします。 ※応募多数の場合はすべてを掲載できない場合があります。予めご了承ください。

負けじと副センター長も独り言

「井の中の蛙、大海に飛び込んだらえ?」心配することより、とにかく前へ進むために努力することが必要なのかも…